2026 年 10 月 6 日
ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

ダイナミックマッププラットフォーム、「Japan Mobility Show bizweek 2026」に出展
高精度 3 次元データのシミュレーションや AI 開発への活用を紹介

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO:吉村 修一、以下「当社」)は、2026 年 10 月 13 日(火)から 16 日(金)まで幕張メッセで開催される「Japan Mobility Show bizweek 2026」に出展します。

Japan Mobility Show bizweek 2026 は、一般社団法人日本自動車工業会が主催し、スタートアップ、大学・研究機関、事業会社など多様なプレイヤーが集まり、モビリティ領域を中心とした共創を促進するイベントです。

当社はこれまで、自動運転や先進運転支援システム(ADAS)向けを中心に高精度 3 次元データの整備・提供に取り組んできました。本イベントでは、こうしたデータ資産を活かしたシミュレーションや、実世界に基づくさまざまなデータを AI の学習・評価に活用する「Data for AI」など、自動運転をはじめとするモビリティ開発におけるデータ活用を紹介します。

■展示内容

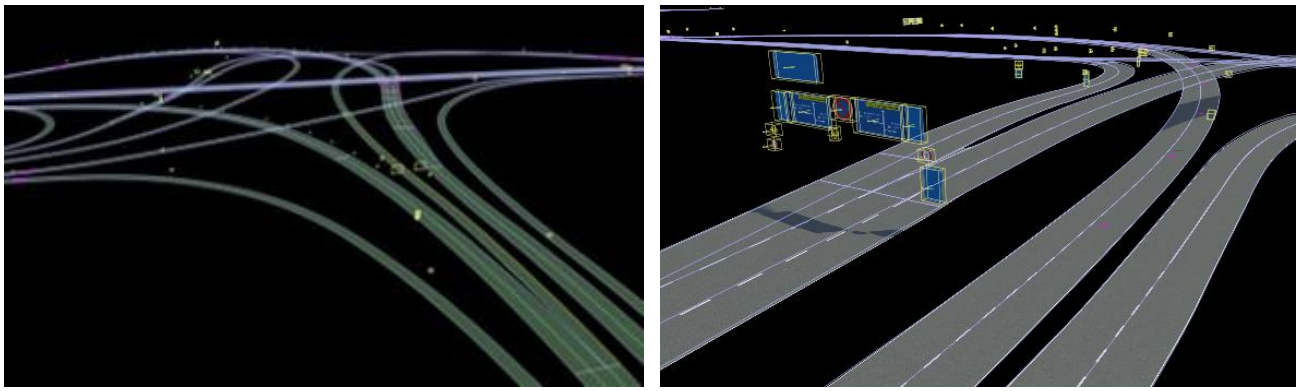
- **シミュレーション向け高精度 3 次元地図データ**

近年、自動運転や先進運転支援システム(ADAS)の開発では、AI の学習・評価の高度化と、実環境と仮想環境の乖離である「Sim-to-Real ギャップ」の低減が課題となっています。また、実車走行のみで多様な走行シーンや希少事象を収集・検証することには時間やコストの面で限界があります。

2026 年 6 月には、国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)において自動運転システムに関する国際規則が採択され、安全性の立証にシミュレーションによる仮想試験を組み合わせる枠組みが示されるなど、信頼性の高いデジタル検証環境へのニーズがグローバルで高まっています。

当社は、自動運転向けに整備してきた高精度 3 次元地図データをシミュレーション向けにも提供しています。OpenDRIVE、RoadRunner をはじめとする各種フォーマットに対応し、さまざまなシミュレーション環境で活用できます。

実在する道路の形状や車線、道路標識などの情報を持つ高精度 3 次元地図データをシミュレーションに活用することで、実世界に即した開発・検証環境の構築を支援し、自動運転 AI の開発や安全性検証の効率化に貢献します。



高精度 3 次元地図データのシミュレーションへの活用事例(左: OpenDRIVE、右: RoadRunner)

- **AI の学習・評価を支える「Data for AI」**

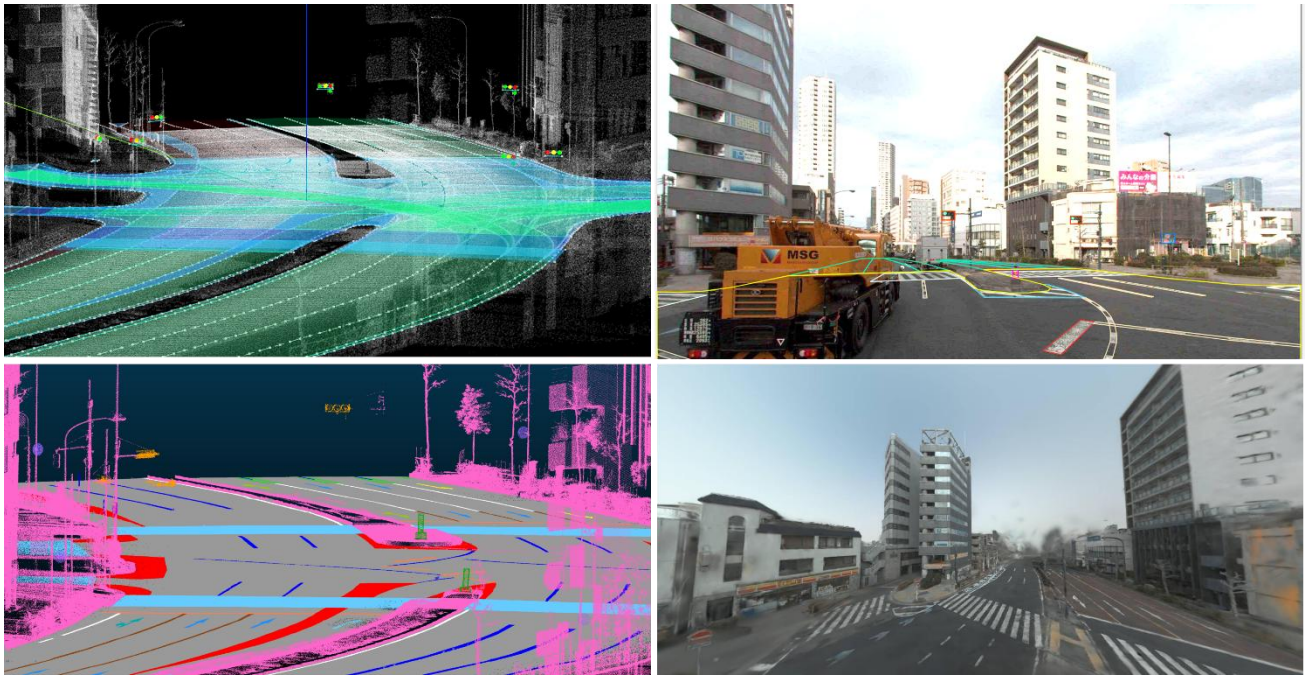
近年、自動運転をはじめとする「フィジカル AI」の進展に伴い、AI の学習・評価に用いる実世界データの重要性が高まっています。当社は、自動運転向け高精度 3 次元データの整備・提供で培った技術やデータ資産を活かし、AI 向けデータ提供事業「Data for AI」を推進しています。

「Data for AI」では、高精度 3 次元地図データをはじめ、LiDAR 点群データ、カメラ画像データ、車両軌跡データ、セマンティックアノテーション、3D Gaussian Splatting(3DGS)データなどを組み合わせ、AI の学習・評価での利用を想定した「AI ネイティブデータ」の開発を進めています。

2026 年 6 月にはその一例として、実在の都市交差点を対象としたマルチモーダルな AI ネイティブデータセットのサンプルを、機械学習コミュニティ向けプラットフォーム「Hugging Face」で公開しました。同データセットは、2026 年 9 月に「Voxel51 Dataset Zoo」からも利用可能となるなど、AI 研究者や開発者がデータを利用できる環境の拡大を進めています。

【参考リリース】

- ✓ 2026 年 6 月 17 日「ダイナミックマッププラットフォーム、フィジカル AI 向けデータセット事業を始動　高精度 3 次元データを統合した AI ネイティブデータのサンプルを公開」
  https://www.dynamic-maps.co.jp/news/news-1656/
- ✓ 2026 年 9 月 9 日「ダイナミックマッププラットフォーム、AI 研究コミュニティ向けデータ提供を拡大　AI ネイティブデータが『Voxel51 Dataset Zoo』で利用可能に」
  https://www.dynamic-maps.co.jp/news/news-2005/



AI ネイティブデータセットのイメージ(点群データ・画像・3DGS 等を統合した交差点データ)

■ショートピッチへの登壇

会期中、当社はショートピッチにも登壇する予定です。同プログラムでは、スタートアップや事業会社が自社の技術、プロダクト、サービス、事業構想などを 3 分間で紹介します。

- ✓ 日時: 2026 年 10 月 13 日(火)15:00～
- ✓ 会場: Zone 1
- ✓ 内容: 当社の事業概要および高精度 3 次元データの活用について

＜「Japan Mobility Show bizweek 2026」概要＞

会期	2026 年 10 月 13 日(火)～10 月 16 日(金)10:00～17:00
会場	幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 2・3
入場	無料(全来場者事前登録制)
主催	一般社団法人日本自動車工業会(JAMA)
当社ブース	Zone 4 E-25
公式サイト	https://www.japan-mobility-show.com/

＜ダイナミックマッププラットフォーム株式会社について＞

当社は日本政府によるバックアップのもと、国内自動車メーカー10 社等の出資により設立されました。日本をヘッドクオーターに、北米・欧州・中東・韓国に拠点を構え、現在 26 ヶ国で事業を展開。自動運転や先進運転支援システム(ADAS)をはじめ、シミュレーション環境構築、インフラ管理、除雪支援など、幅広い用途に向けて高精度 3 次元データを提供しています。

「Modeling the Earth」＝地球のデジタル化をビジョンに、高精度 3 次元データのプラットフォーマーとして、様々な産業分野におけるイノベーションを共創します。

設立: 2016 年 6 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 吉村 修一

事業内容: 自動運転・ADAS をはじめ多様な産業を対象とした高精度 3 次元データの提供

公式サイト: https://www.dynamic-maps.co.jp/

公式 X: https://x.com/dynamic_maps

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社　広報課: 野村

〒150-0002　東京都渋谷区渋谷 2-12-4　ネクストサイト渋谷ビル 12 階

電話: 080-7706-3819　Mail: Nomura.Eriko@dynamic-maps.co.jp